



4月 ようちえんだより

幼保連携型認定こども園

西神戸 YMCA 幼稚園

ご入園、ご進級おめでとうございます。

新しい年度を迎えました。コロナ禍が過ぎ、人々の生活も本来の姿に戻ってきました。2024年度の幼稚園でも園児同士の交流の機会が増えました。コーナー保育も活発でしたが、学年交流や学年を超えての交流も活発に行えました。地域との交流の機会も開かれ、園児と小学生のふれあい遊びや実際に小学校に訪問させていただく体験もありました。保護者の皆様同士が交わる場面も多くなり、保護者が主体となって運営する親子学級では「コンサート」や「漢方について」「幼稚園給食のヒミツ」「子どもとアートのかかわり」「幼児期からの性教育」などのプログラムが行われ多くの保護者の皆様にご参加いただきました。地域が、社会が、大きくさらに前進したことを感じる1年となりました。一方では「関わること、交わることも難しかった時期の影響がコミュニケーションの取りにくさや子どもたちの育ちにでている」と言われています。

そんな中、2025年度の年主題に「ともに」という言葉が与えられました。キリスト教保育連盟が発行している「キリスト教保育」という冊子の中に年主題解説があります。以下抜粋です。～年主題候補としては、一緒にとか、分かち合う、認め合う、響き合って、という言葉も検討しましたが、響き合うにはまず自分も声を発しなければならない。声にならない思いや、つぶやきも共に聞き合って、進みたいという思いから「ともに」という私たちキリスト教保育の園が大切にしている言葉を年主題に選ぶことにしました。次に「ともに」を漢字にするかひらがなにすることについて話し合いました。委員の中で意味を調べてくださった方がいて、漢字の「共」には、一緒に、という意味合いが強く、ひらがなだと、違うことを同時にするといった意味も生じるということでした。神様が一緒にいてくださるという意味もあり、また違った人や、違ったことでも同時に何かをするとき、お互いに認め合ったり、励まし合ったりしながら歩んでいきたい。（中略）そして誰にでも開かれた場所になるようにという思いもこめてひらがなで「ともに」とすることになりました。～とあります。2019年度に生まれた子どもが年長組です。翌年2020年2月には臨時休校要請が発表され実質、社会生活は寸断されました。家庭も教育現場もその中で子どもたちをどのように育てていくか懸命に考えました。3か月後、教育再開後もソーシャルディスタンスやマスク生活、黙食など「隔たり」があったことを思い出します。そのような経緯がありこの2025年与えられた年主題「ともに」です。長いトンネルを通り抜け、輝く光の道を与えられたような清々しい喜びの気持ちが溢れます。幼稚園では必ず皆が同じ活動を同じようにする訳ではありません。個々のペースで心地よく歩みつつ、お互いに認め合ったり、励まし合いながら交わりを深めることができますように。また子どもたちの声にならない思いやつぶやきに寄り添い誰にでも開かれた安心できる場所になりますように。子どもたち、保護者の皆様、教職員一同が神様に見守られ「ともに」育ちあう場所でありますように。多くの願いと感謝を携えながら2025年度をスタートしたいと思います！どうぞよろしくお願いいたします。

【年主題】

『ともに』

【年主題聖句】

「わたしはあなたと共にいる。」（イザヤ書43章5節）

4月主題 「であう」

聖句 「あなたがたは神に愛されている子供です。」（エフェソ5章1節）